

自衛隊の「過去」・「現在」と「防衛予算」

◆日本は1945年(昭和20年)敗戦でGHQ(連合国軍最高司令官総司令部)により、軍部は解体され、憲法第9条によって、軍備を持たない平和国家であることを宣言しました。

◆その後、1950年6月に朝鮮戦争が起り、国内の治安上の不備を補うため、マッカーサーの指示により7万5千人の警察予備隊を創設しました。

◆さらに、1952年に警察予備隊を改編し、自衛隊の前身である保安隊を創設しました。

1954年(昭和29年)自衛隊を創設

◆1954年、警察予備隊から自衛隊に改め、陸上、海上、航空の三自衛隊体制となり17万人で自衛のための組織を創設しました。

◆もともと増殖機能を持つ軍隊(自衛隊)は、際限なく強化拡大し、現在の隊員数は約22万7千人となっています。

また、防衛費は安倍政権以降、2012年度に4兆7千億円から25年度には8兆七千億円(予算)へと倍増しています。

極まらない自衛隊の変質

◆今や自衛隊は、PKOから始まり敵基地攻撃能力の保有や戦闘行為まで想定し、戦闘機や艦船の購入などで毎年1兆円規模の予算が拡大しています。世界のどこへでも出かけることができるようになっていきます

◆そして、日米合同訓練は頻繁に、また2月5日には南シナ海で米国、オーストラリア、フィリピンと共同訓練も実施しています。いつでも戦争ができる準備が着々と進められています。

●左図は兵器の一部



写真はF-35A F-35は105機で約2.5兆円

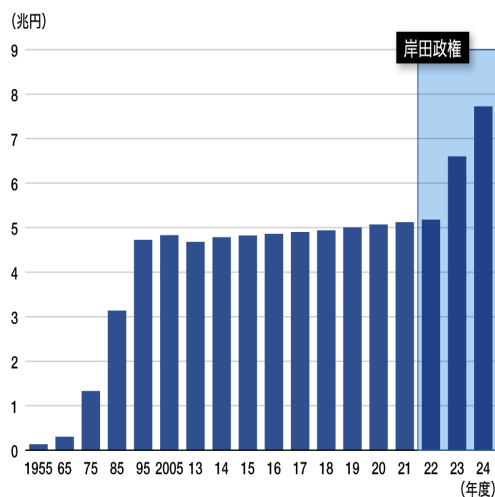


トマホーク契約額は約2540億円最大400発



多機能護衛艦

日本の防衛関係予算(年度当初)



※1955～2005年は10年ごと
出所:防衛白書

nippon.com

二〇二五年三月九日(日)護憲平和行進(通算697回目)

浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市中区紺屋町三〇一一五

★月例護憲平和行進 毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合

浜松市憲法を守る会のホームページは <http://gokenhamamatsu.g.dgdg.jp/>

→ 護憲浜松 で検索

